



東京都本部
 「不屈」No.582
 東京版No.483
 治安維持法犠牲者
 国家賠償要求
 同盟

〒113-0034
 東京都文京区湯島2-7-8
 芳音お茶の水ビル1F
 電話 03(6240)0283
 FAX 03(6240)0284
 振替 00100-5-99628



「武力で平和はつukれない」総がかり国会前行動 (11月19日 衆議院第2議員会館前 写真;中嶋育雄)

学ぶこと語り合うこと 一人ひとりが語り手に

副会長 風間 秀子

コロナの為に3年ぶりの開催となった全国女性交流集会(11月6、7日)に東京から7人が参加しました。「ここで多くの人が成長してきたのよ、だからこの日を待ってました」という勢いで全国から99人が集まりました。4人に1人は初参加。記念講演は田村智子さんとあって大きな期待。講演は、自己紹介から始まり、学生時代の授業料値上げ反対闘争、歴史を切り開いてきた先輩女性の話、それを顕彰してきた同盟の活動に触れて熱気を帯び、会場が一つに燃え上がりました。講演が終わると大勢が取り囲み記念撮影。この熱気は集会が終わるまで続き、夕食時には例年のような交流会にはしないで、全員合唱をアコーディオンのリードで楽しみました。初参加者の一言紹介もして、充実した楽しい交流でした。分科会は「治安維持法なぜ『悪法』なのか」「S TOP! 憲法改悪ー平和を作る女性の力ー」「伊藤千代子の映画上映運動とジェンダー平等」「女性部の役割と楽しい活動」「新入会員の同盟活動、質問と交流」それぞれに助言者の話と経験交流で討論。犠牲者と遺族が、少なくとも藤千代子をはじめとした諸先輩のことを学び、語り伝えることが大切です。まさに今こそ出番の思いを胸に散会しました。まとめの報告を発行する予定です。乞うご期待。

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
 - 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
 - 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

都本部50周年へ、全会員参加の都本部建設を

11月24日 第2回理事会

第2回理事会では、第1回理事会の提起を受け、都本部50周年にむけた支部建設計画と都本部の取り組みについて方針案を提起しました。支部で討議し、支部計画をたて、学習し、会員中心の支部活動をめざす。都本部は支部建設を中心に1500人会員達成をめざす。協議では、再建支部と新支部からは、週ごとに事務局会議を開き「不屈」を手分けして配布、第2次「千代子」上映で若者に観てもらおう、全国女性交流集會に7人が参加して学んだことなど、積極的な発言がありました。

50周年へ新しい一歩を

都本部50周年にむけて、討議資料にもとづき支部計画を作成しよう。

国会請願署名

請願署名の取り組みは、大会が9月だったので、例年比べてスタートが遅れました。各支部では、年内に、主要団体に申し入れましょう。

千代子上映運動

第2次上映運動で、全支部が上映に取り組みましょう。感想は感動的なものが多く、この鑑賞者にどう働

22年度会費12月100%の納入にご協力ください

会費納入は、11月22日現在、50%の到達です。未納者には再請求し、年末100%納入を。年末募金は「不屈」11月号に

訴えと募金袋を同封しました。現在、9支部で52500円。年末までに50%達成を。

支部建設

この間、中央区と文京区で、それぞれ荒川支部と都本部主管で上映会

を開催。文京区では、2人の入会がありました。

会員拡大

支部強化、新支部建設、顕彰の取り組みのなかで仲間を迎えましょう。第2次「千代子」上映運動の取り組みで拡大を。11月、3人が入会。

女性部

全国女性交流会に初参加4人を含め7人が参加。理事会で参加者から積極的な発言がありました。

会議日程

理事会 12月19日 13時30分開会

文京シビックセンター 地下

都本部の活動日程

- 11月4日 立川・後藤宅吊問
- 11月5日 中央区「千代子」上映会
- 11月6・7日 全国女性交流集會
- 足立支部「千代子」上映会
- 11月7日 板橋支部「千代子」上映会
- 11月11日 三役会議
- 11月12日 母親大会実行委員会
- 11月15日 第2次国会請願
- 11月19日 立川・昭島支部総会
- 11月20日 元会長宮田さん懇話会
- 11月24日 理事会
- 11月26日 「千代子」文京区上映会
- 11月30日 国際女性デー実行委員会

河山 有識者

有識者つてなにものだろう？岸田首相の求めた通りに、防衛力を考える「有識者会議」が反撃能力保有、財源国民負担化を強く押し出した日、ワールドカップ・サッカーのドイツ戦勝利のニュースで、このところでもない報告がかき消された▼同じ日、ロシア軍はウクライナの首都にミサイル攻撃でインフラ破壊の限りを尽くした。停戦の先も見えないウクライナの人々、寒波の中、想像に絶する▼近刊の「治安維持法と現代」山田論文。都本部大会の記念講演でも語っているが、ロシアの侵攻は戦前の日本の侵略戦争とあまりにも類似している。では結末は、反戦に立ち上る市民は、世界が再び冷戦に戻る気配に息をのむばかりだ▼日本では伊藤千代子たちが反戦平和のこころざしを貫き、国際的な平和憲法の礎となった。そして戦後77年余戦火を交えず、私たちはたたかってきた。しかし、時の政府が軍拡モードで歴史を繰り返そうというのか。山田さんは、治安維持法は廃止されたけれど特高・内務官僚は生き残り、現在も反動勢力として国家権力の中核を握っているという。「有識者」のメンバーには憲法学者はいなかった。(邦)

コロナ禍の紙上活動交流25

宮田勝さんを偲ぶ会開く

11月20日、コロナ禍で3年間延期していた八王子支部前支部長の宮田勝さんを偲ぶ会を開催しました。実行委員会の呼びかけた40人近い参加者が故人の業績、在りし日の思い出を語り合いました。

宮田さんは18歳で志願して水上特攻隊へ、間もなく終戦で生還。戦後の復興と民主化に生涯をかけた日雇い労働者の組合結成、民主診療所建設、市議



宮田勝さんを偲ぶ会
ととも仲良き

7期28年の勇退後、治安維持法犠牲者とともに同盟八王子支部を結成、20人近い地域の犠牲者を掘り起こして顕彰。記録のパンフレット発行や展示ガイド、都本部の会長も務めました。さらに年金者組合、

終活支援「ともいき」の活動に最期まで取り組みました。

都本部から中嶋事務局長もかけつけてあいさつ。終りに一同遺影の前に来春の市議選全員勝利を誓いました。

女性交流集会在示した未来

板橋支部 永田佳

志を一つにした仲間が一堂に会する喜びを改めて感じた2日間であった。夢中で参加した初めての交流会、学びたいことを明確にして臨んだ2回目の交流会、そして

今回が3回目の参加となると、これまででない責任感が生まれてきた。関東近郊の仲間たちと事前には話し合ったこともあり、集会を成功させる側の人間として働きたいと強く思った

が、結果から書くなら、たいした働きもせず、逆に自分に楽しませてもらった。

記念講演に先立って全国



から発言があり、私も板橋女性部の歴史と運動の足跡を紹介したが、板橋支部の先人たちのバトンを受け取った喜びと、このバトンを次の人に渡すことこそ自分の使命だと、まあよくも大きなことを言ったものである。自分の言葉に責任を持ち、今、私の眼は女性部の未来しか見ていない。

勇気と力をもらった交流集會

練馬支部 杉橋セツ

会場に早く着き、受付を手伝ったが、キャリアアップした女性たちにまず圧倒されました。

大石中央本部女性部長の開会挨拶で、日本国憲法の基礎ともなった伊藤千代子を始め、多くの犠牲者たちの生き様に学びました。あらためて私たちは憲法を守り、理想を実現しようとの訴えに身の引き締まる思いがしました。

田村智子さんは、記念講演のテーマを作るのに『治安維持法と現代』をはじめ、同盟の資料に目を通した。平和と暮らしを守り、ジェンダー平等実現へ、不屈の闘いを受け継ぎ、新しい時代を築こうと



熱弁されました。アベノミクスの失敗を認め、物価高騰から暮らしと経済を守れ。庶民に優しい政策への転換、ジェンダー平等こそ、経済を強くし、成長させる。「今こそ直ちに憲法9条を生かした外交を」と。また、政治の深刻な行き詰まりの延命策としての統一協会と自民党の癒着の核心は、反共謀略だ：等々、たくさん学びました。

夕食交流会の初参加者の自己紹介では、私も発言。鬼のパンツの替え歌踊り、合唱、最後は「沖縄を返せ」をみんなで歌い大いに盛り上がりました。東京7人全員での部屋飲み懇談も楽しかったです。

翌日は第5分科会「新入会の方へ同盟活動の質問交流」へ。全国への取り組みが、とても参考になりました。

全国女性交流集會に初めて参加し、女性差別に不屈に闘った先人たちの歴史を学びました。楽しみながら新しい時代を築く大きな力と勇気をいただきました。

映画「わが青春つきるとも」第2次上映会が始まる

11月5日中央区で1会場2回上映で220人、6-7日足立支部が3会場5回上映で230人、7日板橋支部が1会場2回上映で150人、26日に文京区で1会場2回上映で160人が鑑賞しました。

国賠同盟に加入してともに闘う

足立支部 中田 順子
(千住9条の会)

伊藤千代子の名前は聞いたことがあったが、その生涯について詳細は知らなかった。あの野蛮な絶対的天皇専制時代に侵略戦争に反対し、主権在民、国民の苦しみからの開放を願って治安維持法下のなか、活動した伊藤千代子の生涯に感銘を受け、心震えた。

千代子が、拷問され転向を強要されても拒否し不屈に闘ったこと、獄中の仲間たちと励まし合いながら最後まで希望と確信を棄てず生きたことに敬服した。と同時に、自分だったらどうしただろう、拷問に耐えられず転向したかもしれない、千代子の夫たちと同じようになったかもしれないという気持ちになったりもした。しかし、私はやはり自分の信念を曲げることなく、仲間を裏切ることなく不屈に闘っただろうと思いたいし、今後もそうありたい。

伊藤千代子、小林多喜二を始め、暗黒社会の中で、治安維持法で検挙され拷問され命を落とした多数の人々の尊い闘いを語り継ぎ、二度と戦争する国にし

ないため活動を強めたいとあらためて思った。不屈に闘った先人たちの遺志を受け継ぎ頑張っていきたい。

千代子たちが生きた時代に酷似している今こそ「戦争反対」と声を上げ続け「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」に加盟し、共に闘っていきたいと思う。



中央区 月島社会教育会館上映会

中央区上映会感想のまとめ

中央区実行委員 殿岡 駿星
月島社会教育会館で2回上映。220人が鑑賞し、24人の感想が寄せられた、中に11歳の児童もいた。全員が絶賛し、特に伊藤千代子の不屈の闘いに対する印象を語った部分に集中していた。

歴史の勉強などで築地署で小林多喜二が拷問死したのは知っていても、治安維持法違反で捕まった人々の中に多くの若い女性が拷問・投獄されていた事実には驚く。千代子さんが、戦後も生きていたら、きっと戦後の民主化の為に活躍したに違いな

い。本当に惜しい人をなくしてしまった。「赤旗の歌」に感動、多くの人が涙され、私も泣いた。と。11歳は「昔は天皇に逆らうとひどい目にあうことが分かった。貧富の差や男女差別がひどかったのだと学びました。それでも千代子さんたちは負けないのがすごいと思った。本当によく耐えたなと思いました」と書いている。

多くの観客にこの映画は参考になった。「改めて現代に学び、今の自由が、彼女たちの闘いの上に築かれてきたもので、さらに未来に希望を渡す、活動をしていきたい」と決意もあった。

多くの人々に影響を与えた「わが青春つきるとも～伊藤千代子の生涯～」。今後さらに上映会を全国各地で開催することを願う。

今後の都内の上映予定

(伊藤千代子をサポートする会ホームページから)
文団連・新日本歌人 12/24 南大塚ホール 午前・午後2回上映
大津留 080-6540-6320
足立製作上映実行委員会 2/12 竹の塚地域学習センターホール
3回上映 10:30 14:00 18:00

川柳

植竹団扇選

五万円で身ぐるみはがすマイナン

バー 新宿区 阿部俊雄

牛乳を涙で廃棄酪農家

練馬区 中村茂樹

またでたぞもぐらたたきの自民党

荒川区 風間秀子

軍艦よりもパンと医療をこそ守れ

中野区 中嶋育雄

有識者なんて政府のハンコ押し

八王子市 清水邦治

ゆで上がる日が近づく気候危機

調布市 稲邑明也

次々と続く更迭茶番劇

足立区 高橋陽子

悪政が身近に迫る高齢期

豊島区 藤本増美

ひとりづつ順に辞めてく総辞職

団扇

【読者のみなさんの投稿歓迎】